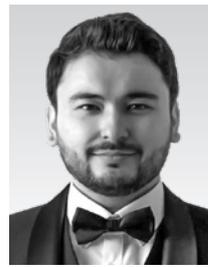




オレグ・ポリャンスキー (ピアノ)

Oleg Poliansky

1968年キエフ(ウクライナ)に生まれる。キエフ中央音楽学校を経て1986年グネーシン音楽大学に進んだ。1991年より1993年までモスクワ音楽院でS.ドレンスキーに師事する。モントリオール国際音楽コンクール(1988年)第3位、第11回チャイコフスキー国際コンクール(1998年)第6位等数多くの国際コンクールで入賞を果たす。ケルン音楽大学で教鞭をとった後、現在はロシア、ウクライナ、ドイツ、イタリア、アメリカ、オーストラリア等世界中で演奏活動を行っている。



スルタン・アブドゥラヒモフ (バス)

Sultan Abdurahimov

1994年ナマンガン(ウズベキスタン)に生まれる。ウズベキスタン国立音楽院で研鑽を積み、国際コンクール「ペラ・ヴォーチェ」(2017年)におけるグランプリ受賞を始め、若手演奏家のための国際コンクール「ロマンシアダ」(2017年)第1位、ヴィシネフスカヤ国際オペラ・コンクール(2023年)第2位等、数々の国内、国際コンクールにおいて入賞を果たす。2022年、グネーシンロシア音楽アカデミーの修士課程に進み、M.カザコフに師事した。現在、アリシェル・ナヴォイ記念国立アカデミー大劇場(ナヴォイ劇場)でソリストを務める。



アッティラ・サウトフ (ヴァイオリン)

Attila Sautov

タシケント(ウズベキスタン)に生まれる。父の指導の下、4歳でヴァイオリンを始め、5歳で初めて公の場で演奏を披露した。タシケント国立音楽大学を経て、 Folkwang 芸術大学(ドイツ)で更なる研鑽を積んだ。全ソビエトヴァイオリンコンクール(ウクライナ)、パリス・ドヴァリョーナス国際青少年ピアノ&ヴァイオリンコンクール(リトアニア)、チヴァ国際ヴァイオリンコンクール(ウズベキスタン)と、3つの国際・国内コンクールで立て続けに優勝した。また、ケルン・フィルハーモニーホール(ドイツ)を始め、オタワ国立芸術センター(カナダ)、香港芸術センター(中国)、マドリッド・センター・コロソ(スペイン)、シドニー・オペラハウス(オーストラリア)等、世界中の主要音楽ホールで数多くのリサイタルやオーケストラとの共演を果たす。現在、アメリカを拠点に世界中で精力的に演奏活動を行う。



ヴァディム・チジク (ヴァイオリン)

Vadim Tchijik

モスクワに生まれる。6歳でヴァイオリンを始め、8歳で初リサイタルを行った。チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院附属中央特別音楽学校を卒業した。その後、フランスへ移住しリヨン国立高等音楽院(フランス)を首席で卒業、引き続きケルン国立音楽大学院(ドイツ)で更なる研鑽を積んだ。パガニーニ国際コンクールをはじめ、数多くの国際コンクール等で入賞を果たす。また、モスクワ交響楽団、メキシコ交響楽団、ハリコフ・フィルハーモニー管弦楽団、群馬室内管弦楽団等、世界中で数々のオーケストラとの共演を行った。これまでに、フランス、ドイツ、イタリア、ベルギー、イギリス、スイス、オランダ、スペイン、ポルトガル、ルクセンブルク、スウェーデン、ロシア、アメリカ、カナダ、メキシコ、日本、トルコ、ブルガリア、ポーランド、イスラエル、レバノン、マレーシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ビルマ、ドミニカ共和国、ハイチ等、世界中で演奏活動を行った。現在、パリのエコール・ノルマル音楽院の教授として、後進の指導にあたる傍ら、精力的に演奏活動をこなす。



アレクサンドル・ゾロタレフ (ピアノ)

Alexander Zolotarev

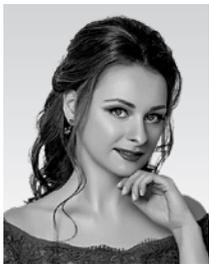
サンクトペテルブルグ(ロシア)に生まれる。5歳でピアノを弾き始め、サンクトペテルブルク音楽院を経て、ケルン音楽大学(現ケルン音楽舞踊大学)で更なる研鑽を積んだ。ロシアやイタリアをはじめ数多くの国際コンクールで入賞歴がある。1991年にシュレーズヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭に招待され、ドイツ連邦共和国大統領の前でリサイタルを行った。ドイツ移住後、1999年から現在までジューゲン大学で教授を務める傍ら、ドイツ国内をはじめ、ヨーロッパ各国やアメリカ等で精力的な演奏活動を行う。また、2001年からシュマレンベルクの室内楽フェスティバルの芸術監督を務める。



フォルカー・ツヴェツケ (ピアノ)

Volker Zwetzchke

旧西ドイツに生まれる。幼少からピアノを学び、ベルギーの作曲家、ジャクリーヌ・フォンテインの助言により演奏家への道を選んだ。ゲトモルト音楽大学卒業後、アイナル・ステーン=ノックレベルグに師事し更なる研鑽を積んだ。また、同時期に、ヴェストファーレン・ヴィルヘルム大学で哲学を学んだ。1996年から2011年までピアノデュオ「INVIA」のメンバーとして活動し、第6回グリープ国際コンクール(オスロ)において、第一位(オスロ賞)、グリープ賞、聴衆賞、スポンサー賞の4賞を受賞した。現在、後進の指導を続ける傍ら、ヨーロッパを中心に世界各国での演奏活動や国際コンクールの審査員を務める等、精力的に活動している。



スターシャ (ソプラノ)

STasha

モスクワに生まれる。モスクワ音楽院アカデミック音楽カレッジを経て、グネーシン記念音楽アカデミーでフズネツォワ氏に師事した。ミュージック・ウィズアウト・リミッツ(2013、リトアニア共和国)第1位入賞、ミュージカル・パフォーマンス・アンド・ペダゴギー(2014、イタリア)第1位入賞等、数々の国際コンクールでの入賞歴を持つ。

2011年からグネーシン劇場のオペラスタジオでソリストを務めた。ロシア国内をはじめイタリア、フランス、ドイツ、スイス、カザフスタン、ベトナム、日本等、世界中で精力的な演奏活動を行っている。大の親日家であり、2015年の初来日以降41道府県76市町村に於いて延べ約150公演を行った。また、2021年に「日本大好きスターシャ」としてYouTubeチャンネルを開設し、童謡、唱歌、都道府県歌、演歌、歌謡曲等、日本文化を広く発信している。

クラシックって楽しいな!

(2015~)

当協会では、より多くの皆様にクラシック音楽を身近に感じて頂くことを目的に、クラシック音楽に関連する面白い情報を掲載したパンフレットを作成し、日本全国約1,250箇所の音楽ホールや当協会主催事業等の会場、当協会のホームページ(<http://www.imea.or.jp/>)を通じて広く国民の皆様に配布しています。このパンフレットは宝くじの公益法人助成事業(社会貢献広報事業)として一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けています。



日本大好きスターシャが

うた歌って
歌人みた!

YouTube で公開中!
STasha

